

第4学年

総合的な学習の時間「せらにしの自然を伝えよう」

①ねらい ○ホタル学習や水辺教室の学習を通して、生き物の生態や生き物にとってのすみよい環境について考えさせる。

○ゲストティーチャーを招いて学習することを通して、ふるさとの川を守ろうとする主体性を育てる。

- ②活動内容
- ・水辺教室やホタル学習で、ホタルの生態やすみよい環境について学習する。
 - ・ホタル祭りで、ホタルの住みやすい環境や生態について発表する。
 - ・水辺教室に参加し、校区を流れる美波羅川の環境について考える。
 - ・ふるさとの川を守るために、どうすれば良いか考える。
 - ・美波羅川やホタルについて調べたことを発表資料にまとめる。

③成果と課題

○ホタル学習では、地域の自然環境に詳しいゲストティーチャーからホタルの生態やホタルのすみよい環境について教えていただくことで、さらにホタルの生態についての知識をつけた。また、調べたことを分かりやすく伝えるためには、どのような表現方法が良いか考えながら自分たちでまとめることができた。

○水辺教室では、美波羅川に生息する生き物の生態などを学んだ。また、川の環境を守る学習を通してふるさとの川を自分たちで守っていききたいという気持ちをもたせることができた。また、何をすべきか考えさせることができた。

○ホタルの生態や住みやすい環境について学び、自分たちに何ができるかを考えることができた。さらに、学んだことを試行錯誤しながら発表資料にまとめ、学習発表会やホタル祭りで発表することで、せらにしの自然を地域全体で守っていくことの大切さを理解し、広めることができた。

○ホタル学習や水辺教室などを通して、ふるさとの自然に触れさせることで、せらにしの素晴らしさを実感し、自らの自信に繋げることができた。

●現地で学習する場合には、天候や川の状況などを考慮して校外学習の計画を立てる必要がある。

「水辺教室」黒川地域 美波羅川

「ホタル学習・蛍まつり」山福田自治センター

